

下水道事業特別会計

下水道事業

1. 歳入

(1) 平成20年度歳入款別決算の状況

科 目	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額
	円	円	円	円
分担金及び負担金	244,589,000	308,270,975	269,261,820	4,085,890
使用料及び手数料	1,528,145,000	1,617,218,717	1,493,298,077	13,217,848
国庫支出金	1,542,100,000	1,188,200,000	1,188,200,000	
県支出金	158,843,000	151,167,000	151,167,000	
繰入金	4,884,112,000	4,781,000,000	4,781,000,000	
繰越金	308,111,000	308,111,316	308,111,316	
諸収入	176,390,000	190,762,270	190,762,270	
市債	6,598,400,000	5,572,700,000	5,572,700,000	
合 計	15,440,690,000	14,117,430,278	13,954,500,483	17,303,738

2. 歳出

(1) 平成20年度歳出款別決算の状況

科 目	予算現額	支出済額
	円	円
総務費	1,326,974,000	1,271,311,782
事業費	6,347,680,000	4,800,951,067
公債費	7,766,036,000	7,765,770,495
合 計	15,440,690,000	13,838,033,344

収入未済額	予算額に対する増減額	収入割合		
		対予算	対調定	構成比
円	円	%	%	%
34,923,265	24,672,820	110.1	87.3	1.9
110,702,792	△ 34,846,923	97.7	92.3	10.7
	△ 353,900,000	77.1	100.0	8.5
	△ 7,676,000	95.2	100.0	1.1
	△ 103,112,000	97.9	100.0	34.3
	316	100.0	100.0	2.2
	14,372,270	108.1	100.0	1.4
	△ 1,025,700,000	84.5	100.0	39.9
145,626,057	△ 1,486,189,517	90.4	98.8	100.0

翌年度繰越額	不用額	執行割合	
		対予算	構成比
円	円	%	%
24,140,000	31,522,218	95.8	9.2
1,315,170,000	231,558,933	75.6	34.7
	265,505	100.0	56.1
1,339,310,000	263,346,656	89.6	100.0

3. 平成20年度起債の状況

起債の目的	借入額	借入先	利率	償還期間 (年)	内容	千円
流域下水道事業負担金	67,100	財務省	2.000	30(5)	流域下水道事業債	39,600
		地方公営企業等 金融機構	2.100	28(5)	流域下水道事業債	27,500
公共下水道事業	2,221,600	財務省	1.900	30(5)	公共下水道事業債	460,600
		地方公営企業等 金融機構	1.900	28(5)	公共下水道事業債	251,600
		地方公営企業等 金融機構	1.900	28(5)	公共下水道事業債(臨時特利分)	244,300
		財務省	2.000	30(5)	公共下水道事業債	383,900
		地方公営企業等 金融機構	2.100	28(5)	公共下水道事業債	144,800
		地方公営企業等 金融機構	2.100	28(5)	公共下水道事業債(臨時特利分)	120,700
		津信用金庫	0.999	10(2)	公共下水道事業債(準建設改良-特別措置分)	200,000
		財務省	1.900	30(5)	特定環境保全公共下水道事業債	137,400
		地方公営企業等 金融機構	1.900	28(5)	特定環境保全公共下水道事業債	91,000
		地方公営企業等 金融機構	1.900	28(5)	特定環境保全公共下水道事業債(臨時特利分)	56,700
		財務省	2.000	30(5)	特定環境保全公共下水道事業債	77,300
		地方公営企業等 金融機構	2.100	28(5)	特定環境保全公共下水道事業債	35,400
		地方公営企業等 金融機構	2.100	28(5)	特定環境保全公共下水道事業債(臨時特利分)	17,900
		資本費平準化	500,000	地方公営企業等 金融機構	2.100	28(5)
津信用金庫	0.999			10(2)	資本費平準化債	430,000
公共下水道事業借換	2,784,000	三重信用金庫	1.230	5(0)	公的資金補償金免除繰上償還に伴う借換債	24,000
		㈱三重銀行	1.310	7(0)	公的資金補償金免除繰上償還に伴う借換債	1,000
		一志東部農業 協同組合	1.250	9(0)	公的資金補償金免除繰上償還に伴う借換債	361,000
		津信用金庫	1.350	10(0)	公的資金補償金免除繰上償還に伴う借換債	446,000
		㈱第三銀行	1.515	11(0)	公的資金補償金免除繰上償還に伴う借換債	624,000
		㈱第三銀行	0.850	7(0)	公的資金補償金免除繰上償還に伴う借換債	81,000
		津信用金庫	1.000	11(0)	公的資金補償金免除繰上償還に伴う借換債	1,247,000
合 計	5,572,700					

4. 主要な施策の実績

款 1 総務費 項 1 総務管理費 目 1 一般管理費

決算額	財源内訳				一般財源
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	
1,271,311,782 円	円	円	67,100,000 円	1,204,211,782 円	円

2 一般管理事業 予算現額 932,572,000 円
事業決算額 887,206,540 円
予算執行率 95.1 %

県が行う流域下水道事業に対して、関係市町が協働して建設事業費、維持管理費の負担を行った。

(1) 流域下水道建設負担金

《 事業概要 》

県が行う流域下水道事業に対して、関係市町が協働して建設事業費を負担した。

処理区	関係市町	金額 (円)
志登茂川処理区	津市	31,260,000
雲出川左岸処理区	津市	33,354,000
松阪処理区	津市、松阪市、多気町	13,867,000

《 事業評価 》

県による繰越事業に係る既収入分の適切な取扱いを図り、生活環境の改善、公共用水域の水質保全等の充実を図ることができた。

(2) 流域下水道維持管理負担金

《 事業概要 》

前年度までの責任流量制から実流量制への変更を行ったことにより、適正な負担を行うこととなり、その上で関係市町が協働して維持管理費を負担した。

処理区	関係市町	金額 (円)
雲出川左岸処理区	津市	667,413,760
松阪処理区	津市、松阪市、多気町	125,116,110

《 事業評価 》

県が行う流域下水道事業に対して、関係市町が協働して維持管理経費を負担し、生活環境の改善、公共用水域の水質保全等の充実を図ることができた。

担当 下水道政策課

3 使用料・受益者負担金賦課徴収事業 予算現額 58,246,000 円
事業決算額 57,065,723 円
予算執行率 98.0 %

《 事業概要 》

受益者負担金、下水道使用料等の賦課徴収を行った。

委託名	委託内容	金額 (円)
公共下水道使用料徴収事務委託	公共下水道使用料の徴収事務は、水道料金との一元化に伴い、水道局と事務委任に関する協定を締結しており、電算処理に要する経費や検針事務経費等を負担している。	31,261,498
公共下水道事業受益者負担金(分担金)計算業務委託	受益者負担金等の計算業務 一式 納入通知書、賦課台帳、督促状、催告状、滞納者管理台帳の作成等	3,315,938

《 事業評価 》

公共下水道工事の進捗に伴う受益者負担金等、公共下水道に接続し使用を開始した場合の下水道使用料の賦課徴収を行うことにより、下水道の建設及び、維持管理経費の確保に努めることができた。

担当 下水道政策課

4 排水設備検査・指導事業

予算現額 14,002,000 円
 事業決算額 13,214,688 円
 予算執行率 94.4 %

排水設備、特定施設等の書類審査及び、現地検査を実施するとともに、未水洗化世帯の調査や水洗便所改造に伴う各種補助金の交付を行った。

平成20年度末公共下水道接続件数40,232件（うち平成20年度接続件数2,813件）

(1) 水質等調査事業

《 事業概要 》

水質汚濁防止のため、流域下水道接続点の最終端マンホールや医療機関等の特定事業場において、下水道法及び下水道条例が遵守されているか水質調査を行った。

委託名	委託内容	金額（円）
流域関連津市公共下水道水質調査業務委託	水質汚濁防止及び下水道施設の機能維持のため、流域下水道接続点、各事業場において水質調査を実施 最終端マンホール 16か所 43項目 特定事業場 医療機関等 2か所 17項目 その他 8か所 8項目	2,892,540

《 事業評価 》

流域関連公共下水道におけるマンホール及び特定事業場等の水質調査を実施することで適正な水質管理を行うことができた。

(2) 未水洗化世帯調査事業

《 事業概要 》

未水洗化世帯に対する聴き取り調査を実施し、公共下水道への接続の普及啓発を行った。

《 事業評価 》

正規職員実施による未水洗化世帯訪問調査により、より詳細な状況把握と水洗化の促進を図ることができた。

(3) 下水道預金利子補助事業

《 事業概要 》

処理区域内の水洗化の促進を図るため、事前に預金積立を行った上、供用開始後3年以内に工事を完了した場合に補助金の交付を行った。

区分	件数(件)	内容	金額（円）
下水道普及向上預金補助金	111	排水設備工事を実施するにあたり、事前に預金積立を行い、公共下水道供用開始後3年以内に工事を完了したもの	3,222,400

《 事業評価 》

事前に積立を行うことで、下水道に対する理解が深まり、供用開始後3年以内の公共下水道への接続をより推進することができた。

(4) 低所得者水洗便所改造助成事業

《 事業概要 》

水洗化の推進と環境衛生の向上を図るため、生活扶助を受けている者、または低所得者を対象に、水洗便所の改造に係る費用の助成を行った。

区分	件数(件)	内容	金額(円)
水洗便所改造費助成金	8	生活扶助者及び低所得者(市県民税非課税世帯の世帯主)で、水洗便所改造に要する経費	351,000

《 事業評価 》

生活扶助を受けている者、または低所得者に助成を行うことで、公共下水道への接続を推進することができた。

(5) 水洗便所改造資金融資斡旋利子補給金事業

《 事業概要 》

自己による改造資金の調達が困難な者に対して融資斡旋を行い融資斡旋を受けた者が支払う利子のうち、年1パーセントを超える利率に相当する利子補給を行った。

区分	件数(件)	内容	金額(円)
水洗便所改造資金融資斡旋利子補給金	38	水洗便所への改造費用の融資斡旋を受けた者が、支払う利子のうち利率年1パーセントを超えた利率に相当する利子の補給	192,433

《 事業評価 》

一時に必要となる高額な水洗便所改造資金の調達が困難な世帯に対して融資斡旋を行うことにより、処理区域内の水洗化を促進し、公共下水道への接続を推進することができた。

(6) 浄化槽雨水貯留施設転用補助金事業

《 事業概要 》

宅地内の排水設備を公共下水道に接続する際に不要となる既設の浄化槽を雨水貯留施設に転用することにより、雨水の有効利用、浸水被害の抑制及び水洗化率の向上を図るために補助金を交付した。

区分	件数(件)	内容	金額(円)
浄化槽雨水貯留施設転用補助金	29	転用工事に要した経費の3分の2以内の額とし、10万円を限度とする	2,888,000

《 事業評価 》

浄化槽雨水貯留施設転用の補助金を交付することにより、雨水の有効利用及び浸水被害を抑制することができた。

担当 下水道政策課

款 2 事業費 項 1 公共下水道事業費 目 1 維持管理費

決算額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
350,586,695 円	円	円	円	350,586,695 円	円

1 一般管理事業 予算現額 1,108,000 円
 事業決算額 1,019,432 円
 予算執行率 92.0 %

《 事業概要 》

ポンプ場維持管理事業及び管きよ維持管理事業に付帯する総務的な経費を執行し、ポンプ場維持管理事業及び管きよ維持管理事業の円滑な遂行を行った。

《 事業評価 》

適切な予算の執行に努め、ポンプ場及び管きよの円滑な維持管理を行うことができた。

担当 下水道施設課

2 ポンプ場維持管理事業 予算現額 131,468,000 円
 事業決算額 130,217,235 円
 予算執行率 99.0 %

《 事業概要 》

市内のポンプ場（17箇所）における設備修繕及び各種点検・維持管理業務委託等を行い、適正な維持管理を行った。

修繕料

区 分	施工場所	内 容	金額（円）
新町汚水中継ポンプ場1号ポンプ等分解修繕	南新町	1号汚水ポンプ分解整備	3,150,000
新町西ポンプ場ほか4施設直流電源盤蓄電池等取替修繕	美川町ほか4町	直流電源盤内蓄電池等取替修繕	7,697,941
中野排水機場ほか4機場電気設備部品取替修繕	一身田中野ほか4町	電気設備部品取替	8,728,778

維持管理業務委託料

委託名	委託場所	委託内容	金額（円）
ポンプ場各種維持管理業務委託	市内ポンプ場	ポンプ場のポンプ設備・電気設備・消防設備等の運転・保守点検業務委託	21,413,767
ポンプ場遊水池等しゅんせつ業務委託	阿漕ポンプ場ほか4箇所	ポンプ場の土砂等のしゅんせつ	10,510,500

《 事業評価 》

排水機能を確保するために適正な維持管理を行うことができた。

担当 下水道施設課

3 管きよ維持管理事業

予算現額 220,770,000 円
 事業決算額 219,350,028 円
 予算執行率 99.4 %

公共下水道管きよ施設の維持管理、管更新及び下水道台帳の整備、公共ますの設置を行った。

(1) 管きよ維持管理事業（公共）

管きよ施設における緊急修繕及び老朽管の更生工事、不明水対策工事並びに新築工事等に
 伴う公共ますの設置工事を行った。

ア 施設修繕事業

《 事業概要 》

管きよ施設の破損等による修繕を行った。

区 分	件数 (件)	内 容	金額 (円)
下水取付管修繕	65	下水道管、取付管、マンホール蓋、 公共ます、マンホールソップ等の修繕	19,350,513

《 事業評価 》

修繕依頼、施設破損の発見時には、早急に調査及びその対策を講じているので、二次災
 害を防止し、管きよ施設の適切な維持管理に努めることができた。

イ 下水道台帳更新事業

《 事業概要 》

管きよ施設の維持管理のために、下水道事業の進捗に合わせて下水道台帳の整備を行っ
 た。

委託名	委託内容	金額 (円)
下水道台帳更新 業務委託	平成19年度（一部平成18年度）整備済分の下 水道台帳の作成等（整備延長55.3km）	21,525,000

《 事業評価 》

下水道台帳をデジタル化に統合した台帳とすることにより、下水道施設の適切な資産管
 理と円滑な維持管理を行うことができた。

ウ 下水道管更新事業

《 事業概要 》

老朽管における更生工事や不明水流入における対策工事を行うことにより、陥没事故等
 の防止や不明水流入対策を行った。

工事名	施工場所	工事内容	金額 (円)
下水道管更生工 事	久居野村町	管路更生工 延長289m	16,993,910
	垂水	管路更生工 延長270m	14,070,000
	万町津	管路更生工 延長455m	39,361,137
	一志町高野	管路更生工 延長134m	7,182,000
	河芸町千里ヶ丘	管路更生工 延長150m	8,288,151
	合 計	延長 1298m	85,895,198

《 事業評価 》

下水道管更生工事の進捗により、陥没事故並びに不明水流入による汚水処理経費の負担
 を軽減することができた。

エ 公共ます設置事業

《 事業概要 》

新築住宅等に伴う公共ますの設置工事を行った。

工事名	施工場所・件数	工事内容	金額 (円)
公共ます設置工事	市内・99件	公共ます設置工事一式	24,404,100

《 事業評価 》

公共ますを設置することにより、新築住宅などの公共下水道への接続が推進できた。

担当 下水道建設課

(2) 管きよ維持管理事業 (特定環境保全公共下水道事業)

管きよ施設における緊急修繕及び新築住宅等に伴う公共ますの設置工事等を行った。

ア 施設修繕事業

《 事業概要 》

管きよ施設の破損等による修繕を行った。

区分	件数 (件)	内容	金額 (円)
下水取付管等修繕	21	下水道管、取付管、マンホール蓋、公共ます、マンホールポンプ等の修繕	5,497,800

《 事業評価 》

修繕依頼、施設破損の発見時には、早急に調査及びその対策を講じているので、二次災害を防止し、管きよ施設の適切な維持管理に努めることができた。

イ 公共ます設置事業

《 事業概要 》

新築住宅等に伴う公共ますの設置を行った。

工事名	施工場所・件数	工事内容	金額 (円)
公共ます設置工事	市内・22件	公共ます設置工事一式	5,352,900

《 事業評価 》

公共ますを設置することにより、新築住宅などの公共下水道への接続が推進できた。

担当 下水道建設課

款 2 事業費 項 1 公共下水道事業費 目 2 施設費

決算額	財 源 内 訳				一般財源
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	
538,823,754 円	円	円	円	538,823,754 円	円

1 施設維持管理事業

予算現額 564,744,000 円
 事業決算額 538,823,754 円
 予算執行率 95.4 %

市内7箇所下水道終末処理場 (浄化センター) における修繕及び各種点検、維持管理業務委託等を行い、適正な維持管理を行った。

(1) 施設維持管理事業（中央）

《 事業概要 》

中央浄化センター及び極楽橋中継ポンプ場の維持管理業務を行った。

施設修繕料

区分	施工場所	内容	金額（円）
中央浄化センター-汚泥乾燥設備修繕	高洲町	乾燥機本体及び熱風発生炉等分解整備	35,700,000
中央浄化センター-水処理設備修繕	高洲町	汚泥濃縮槽搔寄機ほか修繕	23,026,500

維持管理業務委託料

委託名	委託場所	委託内容	金額（円）
中央浄化センター-運転及び維持管理業務委託ほか	高洲町	浄化センターの運転維持管理及び水質分析に係る業務	198,668,190
極楽橋ポンプ場運転及び維持管理業務委託	東丸之内	中継ポンプ場の運転及び維持管理業務委託	15,330,000

《 事業評価 》

施設の修繕と維持管理業務委託により、適切な維持管理を行うことができた。

(2) 施設維持管理事業（公共）

《 事業概要 》

千里ヶ丘浄化センター、浜田浄化センター（河芸町）及び椋本浄化センター（芸濃町）の維持管理業務を行った。

維持管理業務委託料

委託名	委託場所	委託内容	金額（円）
千里ヶ丘浄化センター-運転維持管理業務委託	河芸町千里ヶ丘	浄化センターの運転維持管理及び水質分析に係る業務	9,346,050
浜田浄化センター-運転維持管理業務委託	河芸町浜田	浄化センターの運転維持管理及び水質分析に係る業務	2,614,500
椋本浄化センター-維持管理業務委託	芸濃町椋本	浄化センターの運転維持管理及び水質分析に係る業務	15,120,000

《 事業評価 》

維持管理業務委託により、適切な維持管理を行うことができた。

(3) 施設維持管理事業（特環）

《 事業概要 》

雲林院浄化センター（芸濃町）、高宮浄化センター（美里町）及び佐田浄化センター（白山町）の維持管理業務を行った。

維持管理業務委託料

委託名	委託場所	委託内容	金額（円）
雲林院浄化センター-維持管理業務委託	芸濃町雲林院	浄化センターの運転維持管理及び水質分析に係る業務	10,395,000
高宮浄化センター-保守点検業務委託	美里町五百野	浄化センターの運転維持管理及び水質分析に係る業務	6,562,500
佐田浄化センター-管理業務委託	白山町佐田	浄化センターの運転維持管理及び水質分析に係る業務	6,898,500

《 事業評価 》

維持管理業務委託により、適切な維持管理を行うことができた。

担当 下水道施設課

款 2 事業費 項 1 公共下水道事業費 目 3 建設費

決算額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
3,911,540,618 円	1,188,200,000 円	5,605,000 円	2,021,600,000 円	696,135,618 円	円

2 公共下水道事業

予算現額 5,149,132,000 円
 事業決算額 3,631,243,284 円
 予算執行率 70.5 %

生活環境の改善、浸水防除、公共用水域の保全等を目的に、公共下水道整備を行った。

〔事業実績〕

面整備工事 延長13,128m、整備面積79.9ha

西丸之内ポンプ場ポンプ設置工事

雨水幹線整備 延長524m

なお、執行率が70.5%となった主な要因は、公共下水道事業（事業費：1,315,170,000円）を平成21年度へ繰越したことによる。

(1) 公共下水道事業（污水）

《 事業概要 》

生活環境の改善及び公共用水域の保全等を目的に、単独公共下水道（中央処理区、椋本処理区）及び中勢沿岸流域関連公共下水道事業（雲出川左岸処理区、志登茂川処理区）の污水整備を図った。

委託名	委託場所	委託内容	金額（円）
雲出川左岸処理区公共下水道実施設計（詳細）業務委託	高茶屋及び博多町	管渠実施設計（詳細）設計推進・開削 一式	15,895,173

工事名	施工場所	工事内容	金額（円）
西丸之内ポンプ場1号及び2号ポンプ設置工事	西丸之内	1号及び2号ポンプ設置 水中ポンプ（口径600mm）2台	80,814,300
津北部第12処理分区公共下水道工事	桜橋二丁目 ほか2町	推進工 内径200～450mm 延長277m	89,631,559
津第3-2処理分区公共下水道工事	高茶屋小森町	推進工 内径250～300mm 延長308m 開削工 内径150～200mm 延長495m	107,785,224
椋本処理区公共下水道工事	芸濃町椋本	開削工 内径150mm 延長1,220m	51,471,625
久居北部処理分区公共下水道工事（その2）	久居北口町	開削工 内径150～200mm 延長1,208m	63,008,615
中別保第2処理分区公共下水道工事	河芸町中別保	推進工 内径250mm 延長309m 開削工 内径150mm 延長132m	78,753,148

《 事業評価 》

汚水整備を行うことにより、下水道整備面積を36.7ha増加することができ、生活環境の改善及び公共用水域の保全に向けた整備を推進することができた。

担当 下水道建設課

(2) 公共下水道事業（雨水）

《 事業概要 》

浸水防除を目的に雲出川左岸処理区、志登茂川処理区において流域関連公共下水道の雨水整備を図った。

工事名	施工場所	工事内容	金額（円）
中勢北部サインズ12号調整池（下部）築造工事	河芸町南黒田	管渠工 φ600 延長18.5m 余水吐工 1箇所	100,167,435
東部排水区雨水管渠築造工事	久居新町及び久居持川町	ボックスカルバート工 (1000×700)～(1800×1200) 延長235m (2000×1200) 延長 4m	99,095,564

《 事業評価 》

雨水整備計画に基づき、雨水幹線524mの整備を行い、浸水区域の解消に向けた整備を推進することができた。

担当 下水道建設課

(3) 特定環境保全公共下水道事業

《 事業概要 》

生活環境の改善及び公共用水域の保全等を目的に雲出川左岸処理区、志登茂川処理区、松阪処理区において流域関連公共下水道の汚水整備を図った。

委託名	委託場所	委託内容	金額（円）
一志第2処理分区及び一志第3-2処理分区公共下水道実施設計（基本・詳細）業務委託	一志町大仰及び一志町高野	基本設計 一式 詳細設計 推進・開削 一式	16,105,422

工事名	施工場所	工事内容	金額（円）
東観音寺処理分区公共下水道工事	安濃町東観音寺	開削工 内径150mm 延長988m	48,169,576
一志第3-3処理分区公共下水道工事	一志町井関	開削工 内径150mm 延長806m	52,584,000
久居南部処理分区公共下水道工事（その5）	木造町	推進工 内径350mm 延長199m	65,573,049
白山第5処理分区公共下水道工事	白山町南出	開削工 内径150～200mm 延長607m	40,985,697

《 事業評価 》

汚水整備を行うことで、下水道整備面積を43.2ha増加することができ、生活環境の改善及び公共用水域の保全に向けた整備を推進することができた。

担当 下水道建設課

住宅新築資金等貸付事業特別会計

住宅新築資金等貸付事業

1. 歳入

(1) 平成20年度歳入款別決算の状況

科 目	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額
	円	円	円	円
県 支 出 金	7,250,000	7,250,000	7,250,000	
財 産 収 入	256,000	255,195	255,195	
繰 入 金	104,935,000	90,835,000	90,835,000	
繰 越 金	139,000	139,752	139,752	
諸 収 入	143,525,000	1,023,857,387	152,892,803	
市 債	14,000,000	14,000,000	14,000,000	
合 計	270,105,000	1,136,337,334	265,372,750	

2. 歳出

(1) 平成20年度歳出款別決算の状況

科 目	予算現額	支出済額
	円	円
総 務 費	15,074,000	10,374,226
基 金 積 立 金	256,000	255,195
公 債 費	254,575,000	254,543,996
予 備 費	200,000	
合 計	270,105,000	265,173,417

収入未済額	予算額に対する増減額	収入割合		
		対予算	対調定	構成比
円	円	%	%	%
	0	100.0	100.0	2.7
	△ 805	99.7	100.0	0.1
	△ 14,100,000	86.6	100.0	34.2
	752	100.5	100.0	0.1
870,964,584	9,367,803	106.5	14.9	57.6
	0	100.0	100.0	5.3
870,964,584	△ 4,732,250	98.2	23.4	100.0

翌年度繰越額	不用額	執行割合	
		対予算	構成比
円	円	%	%
	4,699,774	68.8	3.9
	805	99.7	0.1
	31,004	100.0	96.0
	200,000	0.0	0.0
	4,931,583	98.2	100.0

3. 平成20年度起債の状況

起債の目的	借入額	借入先	利率	借入期間 (5年未満)	内容
	千円		%	年	千円
住宅新築資金等貸付事業 借換	14,000	㈱三重銀行	1.310	7(0)	公的資金補償金免除繰上償還に伴う借換債
合 計	14,000				14,000

4. 主要な施策の実績

款 1 総務費 項 1 総務管理費 目 1 一般管理費

決算額	財 源 内 訳				一般財源
	国支出金	県支出金	地方債	その他	
10,374,226 円	円	円	円	10,374,226 円	円

1 貸付事業運営費

予算現額 8,645,000 円
 事業決算額 4,851,590 円
 予算執行率 56.1 %

《 事業概要 》

住宅改修資金貸付事業は昭和41年、宅地取得資金貸付事業は昭和48年、住宅新築資金貸付事業は昭和49年から行われ、平成8年度に全ての貸付制度が廃止された。現在はその貸付金の償還業務を行っている。

なお、執行率が56.1%となった主な要因は、未納者が納付指導に応じたことに伴い、強制執行を行うための弁護士委託料に不執行が生じたことによる。

	各資金貸付件数				総貸付金額 (千円)
	住宅新築資金	宅地取得資金	住宅改修資金	合計(件数)	
旧津市	231	492	142	865	3,092,552
旧久居市	88	24	31	143	888,753
旧芸濃町	157	94	101	352	1,711,714
旧美里村	46	89	12	147	678,961
旧一志町	137	38	192	367	1,527,275
旧白山町	259	392	78	729	2,893,385
旧美杉村	41	30	146	217	653,828
新市合計	959	1,159	702	2,820	11,446,468

平成20年度末総貸付額	貸付件数 (件)	2,820	
	貸付金額 (円)	11,446,970,916	
平成20年度末滞納額 (円)		870,964,584	
平成20年度末滞納件数 (件)		423	
平成20年度末滞納者数 (人)		317	
平成20年度末収納率	現年度	調定額 (円)	167,436,912
		収入済額 (円)	121,274,911
		収納率 (%)	72.40
	過年度	調定額 (円)	856,398,838
		収入済額 (円)	31,596,255
		収納率 (%)	3.70
平成20年度末累計償還率 (%)		91.9	
平成20年度一般会計繰入金 (円)		71,800,000	

《 事業評価 》

本庁と総合支所との連携を図り、文書による催告書の送付や納付相談のための、特別整理班による夜間納付指導や来庁要請をかけて、債務承認や毎月の納付誓約、法的措置を視野に入れた納付指導により、一括返済があった事例など、収納率の向上に努めた結果、過年度分の収納率はわずかに上回ったが、過年度の滞納額を増やさないこと、貸付金を時効にしないことを目指したため、現年度分の収納率が下がることとなった。

今後も継続して、本庁と総合支所との連携を図り収納率向上のため、滞納者への納付指導を行っていく。

担当 市営住宅課

椋本財産区特別会計

椋本財産区

1. 歳入

(1) 平成20年度歳入款別決算の状況

科 目	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額
	円	円	円	円
財 産 収 入	100,000	99,588	99,588	
繰 入 金	736,000	712,000	712,000	
繰 越 金	76,000	76,127	76,127	
諸 収 入	1,000			
合 計	913,000	887,715	887,715	

2. 歳出

(1) 平成20年度歳出款別決算の状況

科 目	予算現額	支出済額
	円	円
総 務 費	813,000	762,000
基 金 積 立 金	100,000	99,588
合 計	913,000	861,588

収入未済額	予算額に対する増減額	収入割合		
		対予算	対調定	構成比
円	円	%	%	%
	△ 412	99.6	100.0	11.2
	△ 24,000	96.7	100.0	80.2
	127	100.2	100.0	8.6
	△ 1,000	0.0	0.0	0.0
	△ 25,285	97.2	100.0	100.0

翌年度繰越額	不用額	執行割合	
		対予算	構成比
円	円	%	%
	51,000	93.7	88.4
	412	99.6	11.6
	51,412	94.4	100.0

3. 主要な施策の実績

款 1 総務費 項 1 総務管理費 目 1 一般管理費

決算額	財 源 内 訳			
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他
762,000 円	円	円	円	762,000 円

1 総務管理事業

予算現額	813,000 円
事業決算額	762,000 円
予算執行率	93.7 %

《 事業概要 》

財産区管理会を2回開催し、財産区の運営、特別会計の決算と予算（案）の審議を行った。
また、椋本地区の地域振興助成のための一般会計への繰出を行った。（600,000円）

区 分	人 数 (人)	報 酬 (円)
財産区管理委員	6	162,000

《 事業評価 》

財産区森林の適正な維持管理を行うことができた。
財政調整基金の減少、低金利により利子収入が見込めない状況ではあるが、今後も財産区の森林の適正な維持管理に努めていく。

担当 芸濃総合支所 総務課

定額給付金給付等事業特別会計

定額給付金給付等事業

1. 歳入

(1) 平成20年度歳入款別決算の状況

科 目	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額
	円	円	円	円
国庫支出金	4,755,773,000	4,755,773,000	4,944,000	
合 計	4,755,773,000	4,755,773,000	4,944,000	

2. 歳出

(1) 平成20年度歳出款別決算の状況

科 目	予算現額	支出済額
	円	円
総務費	168,765,000	2,854,840
定額給付金給付等費	4,587,008,000	
公債費	0	
合 計	4,755,773,000	2,854,840

収入未済額	予算額に対する増減額	収入割合		
		対予算	対調定	構成比
円	円	%	%	%
4,750,829,000	△ 4,750,829,000	0.1	0.1	100.0
4,750,829,000	△ 4,750,829,000	0.1	0.1	100.0

翌年度繰越額	不用額	執行割合	
		対予算	構成比
円	円	%	%
165,910,160	0	1.7	100.0
4,587,008,000	0	0.0	0.0
	0	0.0	0.0
4,752,918,160	0	0.1	100.0

3. 主要な施策の実績

款 1 総務費 項 1 総務管理費 目 1 一般管理費

決算額	財 源 内 訳			
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他 一般財源
2,854,840 円	2,854,840 円	円	円	円

2	定額給付金給付等事務費	予算現額	143,083,000 円
		事業決算額	1,788,850 円
		予算執行率	1.3 %
	《 事業概要 》		
	<p>定額給付金及び子育て応援特別手当についてスムーズな事務処理を行うため、住民基本台帳システム改修や申請書作成、問い合わせのための電話回線の開設などの準備を進めた。</p> <p>また、市民に制度を周知するため、広報津への掲載、ポスターの作成などの準備を進めた。</p> <p>なお、執行率が1.3%となった要因は、総務管理事務事業の繰越額165,910,160円のうち、事務費分141,294,150円を平成21年度へ繰越したことによる。</p>		
	《 事業評価 》		
	<p>定額給付金及び子育て応援特別手当について、速やかな給付を行うための諸準備を進めた。</p>		
		担当	政策課